

2019年3月6日

報道関係各位

GMOメディア株式会社

プログラミング教育ポータルサービス「コエテコ byGMO」
2020年小学校での「プログラミング教育必修化」まであと1年！
認知度や「習い事事情」を調査
～子どもの習い事を解決する「プログラミング教室ぴったり診断」を追加～

GMO インターネットグループの GMO メディア株式会社（代表取締役社長：森 輝幸 以下、GMO メディア）が運営する、掲載数 No.1^(※1)のプログラミング教育ポータルサービス「コエテコ byGMO（以下、コエテコ）」は、小学生のお子さんを持つ保護者を対象に「プログラミング教育必修化の認知度」と「お子さんの『習い事事情』に関する調査」を実施いたしました。

また、この調査で明らかになった、保護者の習い事選びに関する悩みを解決する新機能「プログラミング教室ぴったり診断」も本日 2019年3月6日（水）にリリースいたしました。

(※1) 2018年12月時点。MMD 研究所調べ。

<調査概要>

- 調査対象：小学1～5年生のお子さんを持つ保護者
- 有効回答数：1,208名
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査期間：2019年2月14日～2019年2月15日

【調査の背景】

「コエテコ」では、2020年の小学校でのプログラミング教育の必修化についての認知度や、これに伴う市場動向など、民間におけるプログラミング教育への関心・理解度を量る調査を実施しています。

今回は、1年後に迫った小学校プログラミング教育必修化について、2018年10月に実施した「プログラミング教育と学習に関する調査」^(※2)（以下、前回調査）の結果と比較しながら、認知度や理解度の変化を探るべく、調査を行いました。合わせて、お子さんの「習い事事情」の調査も行っています。

(※2) 2018年10月26日発表（GMOメディア「コエテコ」、夢見る「ロボ団」）

【調査結果】

1. 「プログラミング教育必修化」の認知度は6割超（図1～2）

「2020年の小学校でのプログラミング教育必修化」について知っているか尋ねたところ、「知っている（61.1%）」と回答した人が、前回調査（51.6%）より約10ポイントも上昇して6割を超える結果となりました。

また、2024年度の「大学入学共通テスト」^(※3)から『情報I』の導入が検討されていることについては、「知ってる（25.7%）」と回答した人は2割強で、前回調査（26.3%）からほとんど変化はありませんでした。

(※3) 2020年に廃止される「大学入試センター試験」に代わって導入される、日本の大学の新しい入学試験。

2. 毎週習い事に通う子は7割以上、費用は月額1万円～1万5,000円が約2割と最多(図3～5)

お子さんの「習い事事情」について調査を行いました。

まず、お子さんの「習い事に通う頻度」について質問すると、「週に3日以上(28.4%)」が約3割と最多になりました。これに「週に2日程度(24.8%)」、「週に1日程度(19.6%)」を合算すると、7割を超える家庭で、お子さんを「週に1日以上(72.8%)」習い事に通わせているという結果になりました。

次に、「お子さんがしている習い事」について質問すると、最多が「スポーツ(55.9%)」で5割を超え、続いて「学習塾(25.5%)」「音楽(23.6%)」「英会話(22.5%)」と続きます。

さらに、「習い事にかかる月額費用」を尋ねると、「1万円～1万5,000円未満(20.1%)」が最多で、次いで「7,000円～1万円未満(18.9%)」「5,000円～7,000円未満(14.3%)」となり、平均すると「14,182円」となりました。

3. 子どもの習い事を探すときの悩み「ある」が6割超、「子どもに合う習い事がわからない」が多い(図6～7)

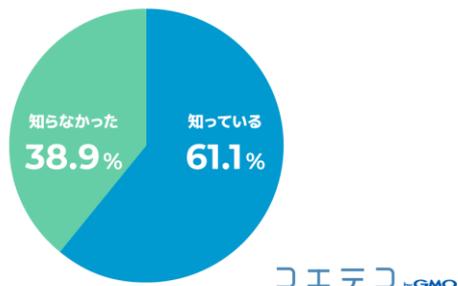
新学期に向けて、新しく習い事を探す家庭もありますが、「お子さんの習い事を探すときの悩みの有無」について尋ねると、「ある(60.6%)」との回答が多い結果となり、多くの保護者が悩みを抱えている様子が見えられます。

さらに「悩みがある」と回答した保護者に「具体的な悩み」を聞いたところ、「子どもに合う習い事がわからない(49.9%)」「家の近くのスクールが探しにくい(47.8%)」が半数近くとなりました。

【質問と回答のグラフ(図1～7)】

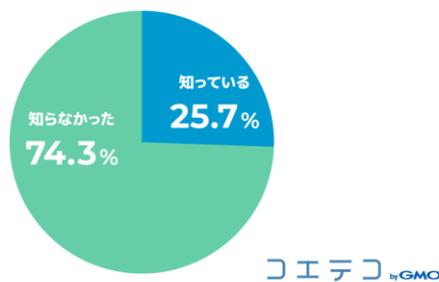
(図1)

2020年の小学校でのプログラミング教育必修化の認知度 [N=1,208 単一回答]



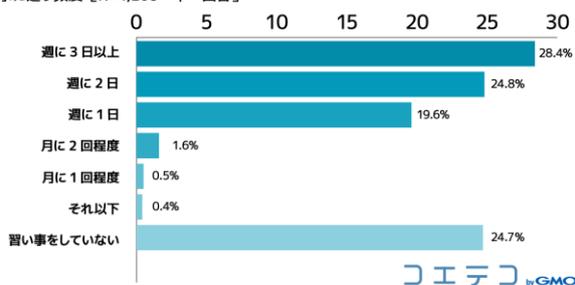
(図2)

大学共通テストでの「情報I」導入が検討されていることに対する認知度 [N=1,208 単一回答]



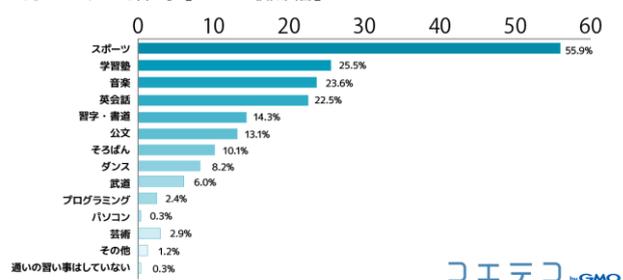
(図3)

習い事に通う頻度 [N=1,208 単一回答]

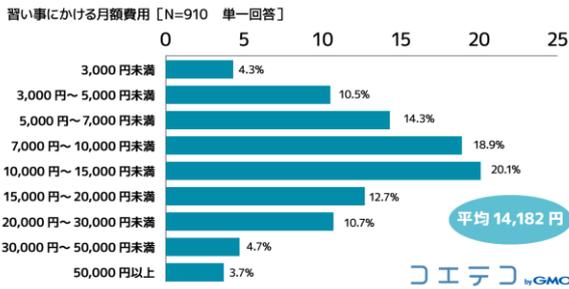


(図4)

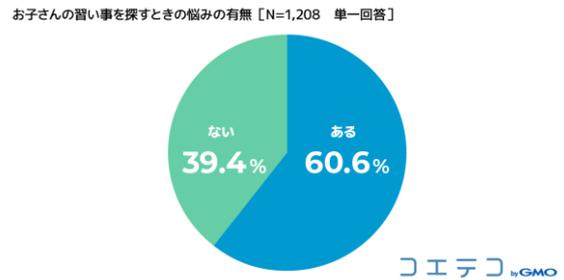
お子さんがしている習い事 [N=910 複数回答]



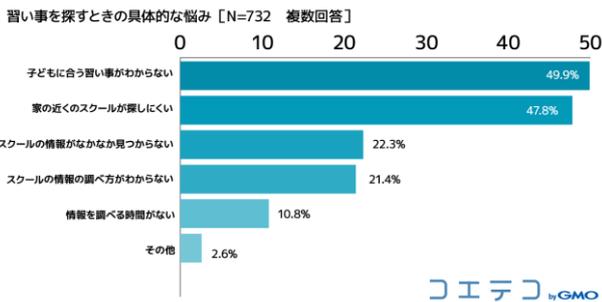
(図 5)



(図 6)



(図 7)



【「お子さんの習い事選び」の悩みを解決！「プログラミング教室ぴったり診断」】

「コエテコ」は、これまで保護者の方の「近くのプログラミング教室を探したい」というニーズにお応えするべく、サービス改良・改善に努め、その結果、利用者数を順調に拡大させてきました。

昨今のプログラミング教室には、受講形態も「オンライン／通学」の 2 通りから選べたり、教材も「ロボット／Scratch（スクラッチ）／Minecraft（マイクラフト）」など複数のものが用意されていたりと多様化しています。その一方で、プログラミング教室の選択肢が増えることによる、「子どもに合う教室がわからない」という悩みを抱える保護者も増えていきます。今回の調査の「(図 7) 習い事を探すときの具体的な悩み」でも、「子どもに合う習い事がわからない」と答えた保護者が半数近くに上り、「探す」ことの難しさが分かっています。

そこで「コエテコ」は、このような保護者の悩みを解決するべく、この度「プログラミング教室ぴったり診断」機能を提供開始しました。この機能は、お子さんの「学年」や「プログラミング経験」などの 9 つの質問に答えるだけで、8 パターンあるスクールの形態の中から最適な教室が表示され、プログラミング教室選びの参考にすることができます。

プログラミング教室ぴったり診断 URL : https://coeteco.jp/shindan/programming_school



【「コエテコ」とは】（URL：<https://coeteco.jp/>）

GMOメディアが運営する「コエテコ」は、「プログラミング教育がわかる、プログラミング・ロボット教室が見つかる」をコンセプトに、2017年11月に開設したプログラミング教育ポータルサービス。プログラミング教育に関する最新ニュースや調査結果をはじめ、様々なプログラミングスクールの情報を伝えることで、小学生のお子さんを持つ親御さんを対象に、プログラミング教育への理解を深めるとともに、プログラミングスクール選びの参考となることを目指しています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMOメディア株式会社 広報担当 森島
TEL：03-5456-2626 FAX：03-5459-6077
E-mail：pr@gmo.media

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMOメディア株式会社 沼田
TEL：03-5456-2626 FAX：03-5459-6077
E-mail：info@gmo.media

- GMOインターネット株式会社 グループ広報・IR部 石井
TEL：03-5456-2695 E-mail：pr@gmo.jp

【GMOメディア株式会社】（URL：<https://www.gmo.media/>）

会社名	GMOメディア株式会社（東証マザーズ 証券コード：6180）
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 森 輝幸
事業内容	■メディア事業 ■その他メディア支援事業
資本金	7億6,197万円

【GMOインターネット株式会社】（URL：<https://www.gmo.jp/>）

会社名	GMOインターネット株式会社（東証第一部 証券コード：9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資本金	50億円

Copyright (C) 2019 GMO Media, Inc. All Rights Reserved.